

授業科目名・形態	保健・医療と法律 講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	川村 泰子・古川 照美	実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

看護職に関連のある医事、保健衛生、社会保障、薬事、福祉、労働などの関係法規について学習する。関係法規に関連する社会的な動向、背景について理解する。

【到達目標】

- 1) 法の内容や法の分類を理解する。
- 2) 看護関連法について、法の定義、内容、体系を理解する。
- 3) 法制定に関連する社会的背景と制定後の動向を理解する。

【授業計画・内容】

第1回	法の内容	(古川)
第2回	保健衛生法	(古川)
第3回	保健衛生法	(古川)
第4回	保健衛生法	(古川)
第5回	社会保障法	(古川)
第6回	社会保障法	(古川)
第7回	労働法と社会基盤整理	(古川)
第8回	労働法と社会基盤整理	(古川)
第9回	看護法	(川村)
第10回	医師法・医療法	(川村)
第11回	関係資格法	(川村)
第12回	医療を支える法	(川村)
第13回	薬務法	(川村)
第14回	環境衛生法	(川村)
第15回	環境法	(川村)

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

講義前に教科書を一読してください。また、普段から新聞等に目を通し、看護・医療に関連する法律などの動向に関心をもって臨んでください。

【主な関連する科目】

公衆衛生学

【教科書等】

看護関係法令 医学書院

【参考文献】

特になし

【成績評価方法】

出席態度(2%)、課題ミニレポート(8%)、定期試験(90%)などにより評価する。古川、川村担当が50%で配点する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

- ・保健師及び地方公務員として、法律に基づく行政に関わった経験
実務経験からの事例などを織り交ぜて、法律についてわかりやすく説明し、身近なものとして考えることができるようにしている。
- ・自治体（県保健所・市町村）で保健師として相談、事業の企画・実施、地域づくりに関する業務を経験
法的な根拠を背景に事業の企画実施したことを事例として、健康支援をするうえで必要となる法の解釈について知識を深め、考え方を習得する。

【学生へのメッセージ】

可能な限り実際例を示しながら講義しますが、学生自身の興味ある分野については、積極的に応答して欲しいと思います。